

9 月の予定

委員会	9 月 14 日
典礼委員会	9 月 7 日
子供のミサ	9 月 28 日
敬老祝福ミサ	9 月 14 日
ヨゼフ会例会	9 月 21 日



神の愛のあかし

主任司祭 小林 陽一



「天の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている。見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を買う」。(マタイ福音書 13 章 44 節)

このたとえ話は、宝が隠された畑を見つけた人は、すぐ家に帰って、誰にも言わないで持ち物を全て売り払って、その金で畑を買い取ってしまう、というたとえ話である。

天の国がどんなに貴重で大切なものかを示すとえであり、天の国はこの世に既にあるものだが、それがどこにあるかは誰にも知られていない。もし、どこにあるか解った人は、持てるお金全てをつぎこんで手に入れようとする。

こんな点を見ていくと、私たちの身近な所に神の国、あるいは天の国と考えられるところがあるかも、と思う人も出てくるかもしれない。

現代人は、あやまらなくなった。「すみません。私が悪かった」とひとこと言えば争いに発展しないと思われる出来事がある。あやまることができる人は、勇気のある、謙遜な人である。しかし、人は、あやまった人は弱い人であり、人に頭を下げるばかりの勇気のない人と見られることがある。イエス様は、「心の清い人は幸いである」と言っておられ、あやまることの出来る人は、心の清らかさを忘れない人であると受け止めてくださる。

天の国は、あやまる人と、あやまる人を受け入れた人の間にあると思うのである。

天の国は、心の清い人を訪れる。「心の清い人は幸いである。その人は神を見るであろう」(マタイ福音書 5 章 8 節)。神を見る人の心に、天の国は生まれ、大きく広がっていくと思います。

キリストのたとえ話は、よく考えると、一つひとつが他の教えとつながっていると思います。私たちの身近な所にあつて、あまり人に知られていない天の国。それは、もう解りきったことでもあります。でも、なかなか実行しにくいもの。それって、朝の挨拶かも、と思ったら、それは間違っていない。朝の挨拶のひとことは、本当に貴重で、大切なものですから。

典礼こよみ (8 月)

日 曜	ミサ・勉強会	備考
3 日	年間第十八主日 主日ミサ (9 時より)	
6 水	聖書勉強会 (10 時より)	
9 土	主日ミサ (18 時より)	掃除 2 G (9 時 30 分)
10 日	年間第十九主日 主日ミサ (9 時より)	
13 水	聖書勉強会 (10 時より)	
15 金	聖母の被昇天 祝日ミサ (10 時より)	
16 土		掃除 3 G (9 時 30 分)
17 日	年間第二十主日 主日ミサ (9 時より)	
20 水	聖書勉強会 (10 時より)	
23 土		掃除 4 G (9 時 30 分)
24 日	年間第二十一主日 主日ミサ (9 時より)	教会掃除日
30 土		掃除 1 G (9 時 30 分)
31 日	年間第二十二主日 主日ミサ (9 時より)	





森脇 信行

私は3年間のフランス生活の実体験の中で自己責任の意識の違いや、在り方について、日本では想像もつかない厳しさがあることに気がつきました。

フランスのスーパーに行って買い物をし、家に帰って袋を開けてみると、『パンにカビが生えていた』『肉の色が変わっていた』『袋に穴が開いていた』などということがあります。こんな時日本でなら、『何だこのカビの生えたパンは。知らないで食べて腹でもこわしたらどうしてくれるんだ。これを持って行って店長に文句を言ってやる』こんな事が通用する図式があると思います。

ところがフランスではどうでしょうか。スーパーのレシートとカビの生えたパンを持って行ったとします。それでも、結果はまったく受け付けてもらえません。責任は買った人にあるということです。カビが生えていようがいまいと、買ったのは本人なので、買うのならよくよくパンを調べてから買うべきだったのです。カビが生えていると気付いたのならば買わなければ良かったのです。文句を言う前に買った自分の責任を問うべきで、レジで金を払ってから文句を言うなんてもっての他ということになります。また、別の見方として、パンは他の店でも売っています。すなわち、他の店でも売っているものなのだから、レシートもそのパンと店の関係を証明するものにはならないということです。どちらにしても、このように理屈たてられて最終的には『買ったあなたが悪いのです。』ということになるというわけです。

私も2ヶ月くらいたって、フランス生活にだいぶ慣れてからホームセンターに本棚を買いに行きました。フランスではほとんどのすべての本棚が自分で組み立てる

タイプのもので箱に入れて売られています。私は箱に貼ってある写真を見て気に入った物を気軽に買って帰りました。そして、家に帰って組み立てようと思って箱をあけて見ると側板が1枚足りなくて組み立てられませんでした。「やられた。どうしようか」と考え、フランスに精通している親しい人に相談しましたが、買うときの確認不足でどうすることもできないという答えでした。本棚の側板一つのために友人に電話したり、次の週にもう一回確認しにいったりと、基本の所でミスすると後のことがどんどん変わっていくことを学習しました。そこに、発生する責任の所在の大切なこともよく理解できたような気がしました。

他にも驚くことはたくさんありました。電車やバスに乗車した際、多くの若者がキセルをしていたのです。やりかたは、電車やメトロの改札口を飛び越えて入場するのです。しかも、駅員は注意しません。それは、駅員の仕事は切符を売ることであって、キセルを取り締まることではないからです。駅員が取り締まったら他人の仕事を奪うことになってしまうのです。キセルを取り締まる仕事をしている人は別において、5人一組で電車に乗りこんで、切符をチェックします。そのとき切符を持っていなかった人は料金の20倍の額を払わされます。捕まったら20倍の罰金を払うというリスクのもと、自己の責任においてキセルを行っているのです。

自己責任を明確にするということは契約社会の大事な一面です。『自分のことは自分で責任を持つ。逆に他人の責任は背負う必要はない』このところをドライに考えている社会があるということも新たな認識でした。

「義のために迫害される人々は幸いである。天の国はその人たちのものである」

マタイ5・10

カトリック中和田教会典礼委員会

「列福をひかえ、ともに祈る7週間」にあたって」と題して、日本カトリック司教協議会列聖列福特別委員会 委員長 溝部備司教様より全国の小教区や修道院などにメッセージが届きました。ここに全文ではございませんがその要旨や目的を部分的ではございますが、抜粋してお知らせいたします。

「ペトロ岐部と187殉教者」の列福が宣言される11月24日は、日本の教会にとってこのうえなく大きな記念になることと、この日、新福者は日本の教会の生きる力として記憶され その先達の生き方と心ざしは世界の教会の希望になるといわれました。(中略)

殉教者をとおして示される素晴らしい神の計画を告げ知らせるためにも、私たちがその生き方に少しでも近づこうとすることが大切であります。列福式とそれに先立つ祈りの期間は、神から与えられた特別の恵みであり、この祈りの期間は私たちの小教区などの信仰共同体の力の泉となるべきであり、新福者の生き方を黙想することで、信仰・希望愛が深まり共同体のきずなが強まります。

「列福をひかえ、ともに祈る7週間」の間、皆様心のパートナーとしてお使い頂きますように、列聖列福特別委員会は小さな「手引き」作成しお送りいたします。この小冊子を活用しましたとないこの祈りのときを、ともにして下さる

よう切に希望して止みません。

ローマ教会最初の殉教者の記念日に 祈りのうちに



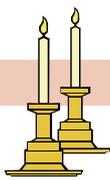
そこで、中和田教会共同体も列聖列福特別委員会の呼びかけに応えます。小林神父様の速やかな手配により、小冊子「黙想と祈りの手引き」も充分取り揃えることが出来ました。

ペトロ岐部と187殉教者列福式に向かって、祈りと行動が段階的な広がりを見るこの秋頃は多くの教会、とりわけ中和田教会では各種の行事や、典礼祭儀が目白押しの有様で続きますから、皆様方にはお忙しくお疲れではないか案じられます。しかし、来る10月5日(日)から全国的に「列福をひかえ、ともに祈る7週間」をテーマに、黙想と祈りが展開されます。中和田教会ではおりしも聖母マリアへの信心「ロザリオ月」にあたりますので、ごミサの前に併せて行いたいと考えます。

この「手引き」はできるかぎり共同体、または家庭で使用されることが勧められておりますし、黙想会、養成会、個人の祈りにも幅広くご活用下さい。

また、「ペトロ岐部と187殉教者」(列聖・列福特別委員会・編)が教会図書コーナーに置いてございますので、どなたもご自由に回覧してお読みください。





皆さんと一緒に「集会祭儀」を学びました

典礼委員 竹内 広治

共同宣教司牧に対する信者の認識の向上が、求められて久しいものがあります。共同宣教司牧体制の導入は、かねてから伝えられておりましたが、幾つかの憶測が不安を招きその実現に向けての対応に、些かの戸惑いがございました。

司祭召命の減少、加えて司祭の高齢化などに目を向けるならば、一つの教会に一人の司祭という従来型の小教区制度、諸教会の交わりと全ての信者の交わりという次元からも見直しが必要となり、先行している他の小教区に倣わねばならなくなりました。

共同宣教司牧実践面のひとつと思われる、「集会祭儀」について、私達はさらに知る必要に迫られました。その学び取るひとつひとつを積み上げ、ことばの典礼と交わりの儀を合わせて行う「集会祭儀」の、完成度を高めてキリストと結ばれ、互いの一致を強めようではありませんか。

6月29日(日)聖ペトロ聖パウロ使徒の殉教を称える日、新しく4人の方々が中和田教会共同体に加わりました。力強い決心と喜びを目の当たりにして、私達も喜び決意を新たにいたします。神に感謝

この日、通常ならば典礼グループミーティング予定日

でございましたが、第五地区共同宣教司牧委員である小野教会委員長の呼びかけで懸案の「司祭不在の集会祭儀」を学ぶ初めての集會に切り替えて開催致しました。

この日はいろいろな行事が重なりました。皆様方大変お疲れのように見えてましたが、いかがでしょうか。特に小林神父様はミサ、洗礼式、朝は早くからこれらの準備に取り掛かれ、しかも「司祭不在の集会祭儀」にまでご出席頂き、あれこれの質問に細かくお答え下さいました。おかげ様で第一回目としては内容があり、すこぶる満足した思いの集會でございました。忙しい日程の中、ご出席下さった皆様に感謝申し上げます。

司祭を囲んで膝を交えての勉強会、久しぶりのような気がいたします。次回には学習資料を吟味して用意いたしましょう。正直申上げて皆様のこの問題にたいしての関心の高さに驚きました。と同時に係わりある者として嬉しい限りでございます。

「神の民を成長させて下さる偉大な方に感謝いたします。

二人または三人、わたしの名によって集まるところに、わたしもその中にいる。」 マタイ 18・20

夏期合宿の思い出

神さまの愛 ー気づいて感じて感謝しよう!ー



花火や夜のかいだん話がおもしろかった。(きもだめしも)谷脇神父様の用意してくれたゲームが勝ったり負けたりで楽しかった。

三本の木のお話で、最後はハッピーエンドで終わってよかった。 森脇 真美



きもだめしでこやのところでびくりした。 美底 光紀



楽しかったことは、花火やきもだめしやかいだん話をしたり、谷わきしんぶさまとあそんだビー玉とりやビンゴなどをしてとても楽しかったです。

三本の木もペンキょうみたいで楽しかったです。 石井 かすみ



ビンゴがんばった。 ほしな たかひろ



ビンゴとかビー玉ゲームをしておもしろかったです。あとビー玉ゲームでビー玉があたってうれしかったです。 石井 太一

花火とビー玉あそびが楽しかった。 フォン ミ

楽しかったことはきもだめしやかいだんばなしです。また「三本の木」では、自分のなりたいものにはなれなかったけど、イエス様にとって大事なものを、それもあらかじめ神様が計画していたんだと思うと、すごいと思いました。

谷脇神父様とは、お勉強したり、楽しいゲームもやりました。夏期合宿の楽しい思い出がたくさんできて良かったです。

石井 築雄

色々なゲームで遊んでおもしろかったです。とくにビー玉で遊んだのをよくおぼえています。ビー玉をはしてつかむのがおもしろかったです。 Tani Ryuji



花火やきもだめしが楽しかった。 タンフォン

花火が色々な色がでておもしろかったです。ビンゴで1とうしようになったのでうれしかったです。 萱場 大智



委員会だより

△7月13日(日)10名出席▽
 ■小林主任司祭より



1. 8/10教区平和旬間行事に二名派遣したので推薦して欲しい。
 2. 区共同宣教司牧研修に中和田教会から4名受講中。
 3. 8/4〜7教区召名命練成会に3名参加
 4. 7/27谷脇神父様の初ミサ(子どもミサ)と歓迎会。
 5. 08年度一粒会大会が10月13日雙葉学園にて開催される。ミサ後のお知らせにて参加者を募る。
 6. 09年6月の中和田教会堅信式の受堅対象者を調べ準備を進める。
 7. 消火設備の点検を申し込む
 8. 小林神父様出張8/24〜28
 9. 9月敬老会対象者のリストを作成する
 10. バザーの売り場の方や関係者は胸に名札を付ける
- 行事計画
- ◆ 要理学校夏合宿… 7/26〜27
 - ◆ 中高生会夏合宿… 8/9〜10
- 審議事項
- * 教会委員会の運営方法… 小林神父様からのお話を最初に。
 - * 第5地区共同宣教司牧委員会(7/6)の報告
- 各グループ連絡・報告事項
- a. 営繕G…
 - ◆ 男子・女子トイレ工事…フラット化、車椅子対応。建物を考える会にて検討。
 - b. 典礼G…
 - ◆ 典礼こよみ、典礼委員会報告。
 - ◆ 8月子どもミサは夏休みのため通常ミサとする。

◆ 7/26の要理学校合宿に谷脇神父様参加。7/27初ミサ

c. 行事G…
 ◆ 敬老会に備えて対象者をはっきりさせる。事務Gにて8半までに。

◆ 第一回バザー委員会8/17。

d. 宣教G…
 ◆ 要理学校で保険に加入した。

◆ 要理学校合宿の実施内容

◆ 中高生会8/9の夏期合宿ではバーベキューに大人の方も多数参加して頂き、信仰体験等について話して欲しい。

e. 事務G…
 ◆ 四つ省災害の義援金…7/6締め切りで集まった30421円はカリタス・ジャパンに送金済み。

■その他の議論
 ◆ 教会の運営に新しい人たちに加わって頂かねばならない。委員の交代を各Gにて検討していく。

◆ 9月に入ってから議論していく。

◆ 現委員会規約でも2年で交代することが定まっております、留任を重ねることなく2年で廻していける習慣をつけていきたい。(委員長)

◆ 教会委員会に参加してもらわないと各委員の仕事も皆に伝わらない。変わることは良いし、委員がそれを意識していることは良いが、変わるためにはその方策も見いだすことと、皆に仕事内容を知ってもらうことが必要。(小林神父)

08年7月委員会後記 小野委員長

◆ 7月の重要イベントである中和田教会の教会学校夏期合宿が、本年4月29日に叙階された谷脇慎太郎神父様をお迎えして、7月26日と27日の両日行われました。谷脇神

父様を囲んで映画『3本の木』の鑑賞/お話し合いやゲームをはじめ、盛沢山な内容で夏期合宿を無事終え、27日の谷脇神父様司式の主日ミサに与りました。夏期合宿の準備・運営に多大なご尽力を頂いた教会学校関係者の皆様に深く感謝申し上げます。今回の夏期合宿の思い出が、子供たちの記憶に深く刻まれたことを確信しております。

◆ 広報なかわだ7月号で、「愛の献金を考える会」の報告と提案をさせていただきます。まだどなたからもご意見やご指摘等をお寄せ頂いておりませんが、教会の全体的な運営に関わる重要事項ですので、是非信徒各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。今後は福祉グループを中心に、具体化や実行計画の策定に進んでいく予定です。

◆ 是非、ご意見、ご指摘などは早めに福祉グループのメンバーや教会委員にお寄せ願えれば幸いです。

バザー担当・アンドレグループからのお知らせ

◆ バザーに向けての作品作りも皆様のご協力で進んでおります。また提供品も少しずつ集まっております。

◆ バザーの為に作品作りについて…8月の仕事日はおやすみになります。9月(第3木曜日)で最後といたします。

◆ 各自の手作り品についても、是非ご提出くださるよう、よろしくお願いたします。

7月の要理学校だより

◆親の集い 7月20日

7月の活動報告

- ◆ 7/20 合宿の準備と親の役割分担
- ◆ 7/26〜27 夏期合宿と子供ミサ



8、9月の活動予定

- ◆ 8月の活動及び子供ミサはお休みです
- ◆ 9/14 敬老会パーティーでの余興
- ◆ 9/21 答唱詩編とアレルヤについて 初聖体の歌の練習 等

その他

- ◆ 「ペトロ岐部と187殉教者」の本をお母さん方で順番に回して読みましょう
- ◆ バザーのお手伝いの件について話し合う
- ◆ 8/31 教会学校リーダー研修会が聖心布教姉妹会藤沢本部修道院で行われます。大勢の参加を!